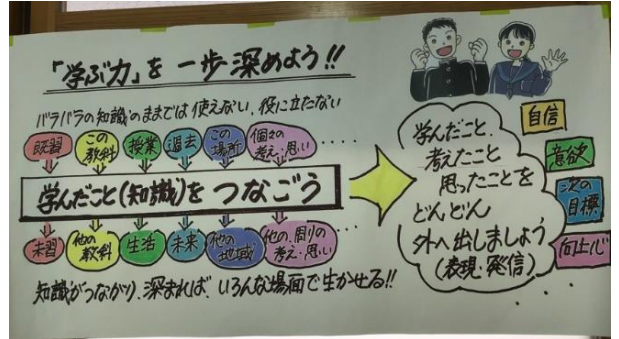


学校訪問シリーズ 6

由布市立湯布院中学校から学ぶ

学校の教育目標「主体的・対話的に学び 豊かな表現力をいかし 協働の学びができる集団の育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「つなぎ、出力する力」と定め、教務主任、研究主任を中心に組織的に取り組んでいます。また、右の図を全学級に掲示し、教職員だけでなく生徒達にも資質・能力を意識させた授業や行事を行っています。

我々が訪問した際、生徒達は笑顔で場に応じた声の大きさに挨拶を交わしてくれました。正に「出力する力」が育っていると感じました。



学校経営から学ぶ

本校では、昨年12月の由布市の学力調査結果を分析し、3学期からは、「基礎・基本をつなぐ」「集団をつなぐ」「発言をつなぐ」等、「つなぐ」を意識した実践を徹底することで、各教科の基礎・基本を定着させてきました。そのように、焦点化した実践を重ねたので、4月の全国や県の学力調査の好成績につながり生徒も教職員も自信をつけたそうです。

さらに、1学期の学校評価の課題点や1回目の訪問で話題になった点は必ず4点セットに取り込み、とりわけ授業改善においては、知識の概念化の研修を行いながら、「生徒の記憶に残る授業」に組織的に取り組んでいます。

学校組織もこれまでの常識を変えて、「担任チーム」「学年主任チーム」「支援チーム」としています。特に、若い職員の多い「担任チーム」では、帰りの会の持ち方等日常的な悩みを気軽に相談でき、効果的な会となっているようです。

授業から学ぶ

授業改善を中心に行っていることもあり、参観した授業の指導案や実践も大変素晴らしいものでした。特に、2年生の音楽と保健体育の授業では、生徒は自分の考えを出し合い、グループでまとめ、実践する。このようなことを繰り返すことで、教科の目標だけでなく学年部の課題解決を目指す内容でした。

また、今回の事務所訪問の授業参観と、互見授業を組み合わせることで効果的な研修が行われました。アイデアがいいですね。



NO.120 2022年9月 由布市立湯布院中学校

つなぐ力

自分の考えを聴いてくれる。共感してくれる。だから、次第にみんなの考えがまとまってくる。



NO.121 2022年9月 由布市立湯布院中学校

聴く力

相手の目をみて、うなづき、共感しながらメモをとる。そして、感謝の気持ちをこめて拍手をする。



NO.123 2022年9月 由布市立湯布院中学校

出力する力

学んだ事やってみる。でも、最初から上手くいかない。諦めずに挑戦することで成長する。



NO.119 2022年9月 由布市立湯布院中学校

学ぶ力

一人で考える。わからないことは調べる。これまでの知識をもとに予測する。



NO.122 2022年9月 由布市立湯布院中学校

強みを生かす

一人一人の良さをいかし、仲間を信じて戦略を考える。だから、思い切ったプレーができる。



NO.118 2022年9月 由布市立湯布院中学校

笑顔で学び合い

「私と同じ」「その考えもいいよね」「気づかなかった」学び合うと楽しくなる。